



東 風

横浜市立綱島東小学校



【素直に聞く力がある子】

校長 三橋 国雄

もう真夏ではないかという日が続いたり、はじめじめした日があったりと目まぐるしい気候の変化に体がついていかないという方も多いのではないのでしょうか。個人面談、学校説明会へのご出席、ありがとうございました。子ども達の学校での様子をお伝えしましたがいかがだったでしょうか。6月には5・6年生の宿泊体験学習・修学旅行を行う予定です。子ども達の意見を取り入れながら、クラスの仲をよりいっそう深める行事になるように進めて行きたいと思えます。

さて子ども達の成長には、目を見張るものがあります。新年度が始まるとすぐに始まるのが、春の健康診断です。内科・眼科・耳鼻科・歯科など学校医の先生方による検診と、視力・聴力・身長・体重などを養護教諭が保健室で測るものがあります。どちらも自分の健康について知ることができとても大切です。診断が終わると一度健康手帳を持ち帰りますので、お子さんと一緒に1年の成長を感じていただくとともに、それぞれの学年に応じて入学時からの成長を確認していただければと思います。また、教室をのぞくと、多くの学年で、「今年はこんなことをがんばりたい」と、子ども達が書いた目標や自己紹介カードが掲示されています。お互いをよく知ろうと自己PR文を添えてあるものもあります。「漢字をしっかりと書けるようにがんばる」「算数の計算をがんばる」「みんなが笑顔になれるクラスがいい」「友達をたくさんつくる。」「ケンカのないクラスにしたい」「低学年に優しくする。」等々、どれも子ども達

一人ひとりの強い願いが現れています。このように、自分の目標を考え表すことができるのも、成長の1つです。この目標の達成ができるようにするために、基礎・基本をしっかりと指導していくことが大切であると考えています。

多様な方法で、自己表現をすることで子ども達の表現力は伸びてきます。表現し、伝える力とともに聞く力は、子ども達の能力が伸びる両輪となります。素直に聞く力がある子ども達は、成績が伸びます。聞く力があると、様々なところから知識や情報を日々吸収できるからです。その聞く力を育てる手立てとしておとなが気をつけなければいけないことは、話をするときに子どもに優しく語りかけることです。優しく語りかけると子ども達は耳を傾けます。しかし常に厳しくしかっていると子ども達は耳をふさごうとします。もちろんしつけとしてふれないで厳しくすることは重要ですが、周りのおとなが日々語りかける時、優しく穏やかな口調で話すことが大切ではないでしょうか。信頼関係がないところに人間関係はうまく育まれません。「聞く耳」を育てると相手の話が丁寧に聞けて、思いやりのある対応ができますので、友達ともうまくやっていける子にも育つのではないかと思います。これは、将来子ども達が社会に出たとき重要な力となるはずですが、親子や兄弟、姉妹で日常の出来事を語り合うことでも聞く力は育ちます。ぜひご家庭でも取り組んでみてほしいと思えます。

